

「クマの学食を地域にひらく つながりづくり事業」

団体名 親ぐま（クマの学食 学生運営団体）

(1) 団体の紹介文

私たちは、兵庫県宝塚市を中心に活動する子ども食堂「クマの学食」の学生運営団体です。

クマの学食は、「よく食べ、よく学べ。」をモットーに、地域の小学生から高校生を対象として、無償の食事支援と学習支援を行っています。

クマの学食では、食事の提供や学習支援だけでなく、大学生との交流や遊び、何気ない会話を通じて、子どもたちが家庭や学校とは異なる「第三の居場所」と感じられる温かい空間づくりに取り組んでいます。

また、子どもたちが成長した後には、今度は地域を支える側として関わることができるような、子ども・若者・地域がつながる循環型コミュニティの形成を目指しています。

親ぐまでは、子どもたちにとって少し先の未来を歩く存在である大学生だからこそできる関わりを大切にしています。勉強を教えるだけではなく、一緒に悩み、楽しみ、挑戦する中で、子どもたちが自分の可能性を広げるきっかけをつくることを目指しています。

また、この活動を通して大学生自身も地域とつながり、社会課題について考え、行動する力を育んでいます。

子ども、大学生、地域の方々がつながり、お互いに成長できる場所へ。

学生運営団体「親ぐま」は、地域に根ざした温かい居場所づくりに取り組んでいます。

活動写真



※写真は 200KB 以下
で

(2) 事業予定

学生主体による子どもの居場所の認知拡大・地域交流事業

クマの学食を、より多くの子どもたちや地域の方々に知ってもらい、誰もが安心して参加できる「地域の居場所」へ発展させるため、広報活動や地域交流イベントを実施します。

これまでクマの学食は、食事支援や学習支援を通じて、子どもたちが家庭や学校以外で安心して過ごせる第三の居場所づくりに取り組んできました。

一方で、活動を必要としている子どもや保護者に、まだ十分に情報を届けられていないという課題があります。そこで今回、活動内容や参加方法を分かりやすく発信するPR活動を行い、より多くの方がクマの学食とつながるきっかけをつくります。

また、子どもや保護者が気軽に参加できる地域交流イベントを開催します。イベントでは、クマの学食の紹介だけでなく、大学生との交流、遊びや学びの体験企画などを通じて、活動の雰囲気を実際に感じてもらえる場をつくります。

さらに、学生運営メンバーや地域の関係者との研修・意見交換会を実施し、子どもの居場所づくりや地域連携について学びながら、今後の活動の質の向上につなげていきます。

この事業を通じて、子どもたち、大学生、保護者、地域の方々がつながり合い、互いに支え合う循環型のコミュニティづくりを目指します。

(3) 連絡先

団 体 名：親ぐま（クマの学食 学生運営団体）

所 在 地：兵庫県宝塚市小浜2丁目1-24

電 話 番 号：

HP、SNS等：Instagram: @kuma_no_daigakusei